

令和6年度
東海小学校 学校評価書

評価項目	評価	取組への評価と並びに今後の対応
【重点目標Ⅰ】 健康・体力	B	<p>「体力を向上しながら、自他の生命を尊重し、健康な生活を送ることができる児童を育成する。」という目標を掲げ、「よりよい生活リズムの定着」「体力向上」「防災意識の向上」「食育の推進」に向けた方策を行ってきた。</p> <p>特に「よりよい生活リズム」については、「アウトメディア」を中心に、学校の授業でその必要性を指導するとともに、家庭での強化週間を設けるなど、保護者への啓発を図り、家庭にも協力していただいた。家庭との連携により、よい方向への変化が見られた。</p> <p>しかし、家庭による取組の差が見られるため、今後はさらなる意識向上のため、啓発の継続、取組のブラッシュアップを図っていく。</p>
【重点目標Ⅱ】 豊かな心	C	<p>「望ましい人間関係を築き、落ち着いた生活を送ることができる児童を育成する。」という目標を掲げ、「自主自立」「規範意識」「思いやり」に向けた方策を行ってきた。</p> <p>特に、生徒指導面において、「マナーよし、心よし」を合言葉に、職員の共通理解・共通実践を図った。「規範意識」については、「名札着用」「右一静歩」を中心に、全職員で同じ指導ができるように情報共有を行い、児童、職員ともに意識の向上が見られた。</p> <p>しかし、校内における意識の向上が見られたものの、校外における「規範意識」の向上は不十分である。今後も学校での指導は継続しながら、家庭や地域との連携を図っていく。</p>
【重点目標Ⅲ】 確かな学力	B	<p>「自ら問い合わせをもち、自ら努力して知識やスキルを身に付け、学ぶ喜びを味わう児童を育成する。」という目標を掲げ、「学習指導の充実と確かな学力の向上」に向けた方策を行ってきた。</p> <p>特に、校内研修では、教師の指導力向上を目指し、授業研究、一人1レポート作成等、授業改善に取り組んできた。また、講師を招いての特別支援教育研修も行い、児童に対する声かけ等についても研修を行った。児童アンケートでは「分かりやすい」と感じる児童が増えており、一定の成果が見られた。</p> <p>今後は、学習規律の徹底など授業以外の改善、学力向上の個人差への対応等について、支援の在り方を検討していく必要がある。</p>
【重点目標Ⅳ】 信頼される学校	B	<p>「学校経営ビジョンの実現を目指した知・徳・体のバランスの取れた教育課程編成及び現職教育の計画・実施」という目標を掲げ、子ども・保護者・地域から「信頼される学校」を目指してきた。</p> <p>計画・実施に当たっては、Googleを活用して情報共有や組織的に対応する体制づくりを行い、子どもたちの課題や保護者との相談についても組織的に対応することができた。また、学習活動やその準備において、地域の方の力を借りし、活動の充実を図ることができた。</p> <p>今後は、子どもたちの心を育てるため、SWPBSの取組を充実させるとともに、これまでの地域とのつながりを生かす「コミュニティ・スクール」を目指し、「信頼される学校」を創っていく。</p>

A：大いに満足 B：満足 C：やや不十分 D：不十分